

7/15(火)の報道発表

報道発表資料の配信日時 2025 年 7 月 15 日 (火) 10 時 00 分

発表項目	未来の医療を支える力に一札幌医科大学、3つの挑戦が新たにクラウドファンディングで始動！
概要	<p>北海道公立大学法人札幌医科大学は、本学の医学教育研究への取り組みを知っていただくと共に、各研究室の活動や大学の設備投資などに対する寄付金等を獲得する機会を拡げるため、令和6年5月からクラウドファンディングを実施しており、本日、新たに3件のプロジェクトを公開しましたので、お知らせします。</p> <p>(プロジェクト概要)</p> <p>■「がん治療にともなう副作用の軽減・予防を目指す、基礎研究へのご寄付を」</p> <ul style="list-style-type: none">公開期間：2025年7月15日(火) 9時～2025年9月12日(金) 23時目標金額：600万円ページ URL：https://readyfor.jp/projects/sapmed-pharmacol形式：寄付金控除型 / All-or-Nothing 方式実行者：札幌医科大学医学部 薬理学講座 教授 久野篤史 <p>■「ケガで夢を諦めない未来を。遠隔支援でスポーツ現場に医療が届く時代へ」</p> <ul style="list-style-type: none">公開期間：2025年7月15日(火) 9時～2025年9月12日(金) 23時目標金額：550万円ページ URL：https://readyfor.jp/projects/sapmed-sports2025形式：寄付金控除型 / All-or-Nothing 方式実行者：札幌医科大学医学部 スポーツ医学講座 教授 渡邊耕太 <p>■「増加する性感染症に立ち向かう。培養困難な細菌の培養法確立を目指して」</p> <ul style="list-style-type: none">公開期間：2025年7月15日(火) 9時～2025年9月12日(金) 23時目標金額：300万円ページ URL：https://readyfor.jp/projects/STI形式：寄付金控除型 / All-or-Nothing 方式実行者：札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座 准教授 安田 満 <p>※ 詳細は、別紙チラシを参照してください。</p>
報道(取材)に当たってのお願い	貴紙面や番組等での周知活動にご協力をいただきますようお願いいたします。
本件に関する問合せ先	札幌医科大学事務局研究支援課 担当：瀬上 TEL 011-611-2111 (内線22280)



がん患者さんが、副作用なく
十分ながん治療を受けられる未来へ！



目標金額 **600万円** 寄付募集期間 2025年 **7月15日(火) 9時から**
9月12日(金) 23時まで

がん治療にともなう副作用の軽減・予防を目指す、 基礎研究へのご寄付を

※本クラウドファンディングへのご寄付は札幌医科大学へのご寄付となり、税制上の優遇措置が受けられます。
※本プロジェクトは All or nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。

近年のがん治療の目覚ましい進歩により、がん患者の生存率は改善してきています。そして、治癒が期待できるがんが増えてきた一方で、その治療にともなう副作用に一層の注目が集まってきていると言えます。

従来から使用されている抗がん剤、ドキソルビシンやシスプラチンなどのがん細胞を攻撃する薬は、これまで多くの患者さんの命を救っており、現在でも多くのがん種の治療に中心的な役割を果たしています。しかしこれらの薬によって生じる可能性がある副作用は、がん治療を制限するだけでなく、生命をも脅かすため、副作用の対策・制圧に向けての研究も不可欠です。

がん治療薬の副作用の研究を開始して直面したことは、がんや心臓病といった病気そのものに関する研究とは異なり、がん治療薬の副作用に関する研究には、研究費や助成金が集まりにくいという現状です。近年注目が高まってきているとはいえ、この研究を推し進めることは困難な状況にあります。

だからこそ、クラウドファンディングという形で、多くの方にこの問題を知っていただくとともに、基礎研究に対する費用にご支援をお願いすることにいたしました。当講座へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

● プロジェクト内容について：札幌医科大学医学部 薬理学講座（久野） kuno@sapmed.ac.jp

● 税金控除について・Webでのご寄付が難しい方：事務局研究支援課（瀬上） kihukin@sapmed.ac.jp

<https://readyfor.jp/projects/sapmed-pharmacol>



札幌医科大学 がん治療の副作用 クラウドファンディング



ご寄付の方法

「札幌医科大学 がん治療の副作用 クラウドファンディング」で検索。
または表面の二次元コードを読み込んでください。

1

プロジェクトの寄付にすずむ
をクリック



2

希望するコースにチェックを入れ
個数を選択し「次に進む」をクリック



3

はじめて利用する方は新規登録へ
をクリック



4

情報を入力し
メールアドレスで登録をクリック



5

支払い方法を選択する



6

必要情報を入力

- ★クレジットカードの場合
→カード情報を入力
- ★銀行振込の場合
→画面の案内をお読みください
- ★コンビニ支払いの場合
→画面の案内をお読みいただき、
コンビニの種類を選択

※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。寄付金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛に READYFORからメールが届きます。
受信したメールの本文内にある URLをタップしてください。

7

ギフトお届け先(住所)を入力し
入力内容の確認画面へをクリック



8

入力情報を最終確認し、
寄付を確定するをクリック

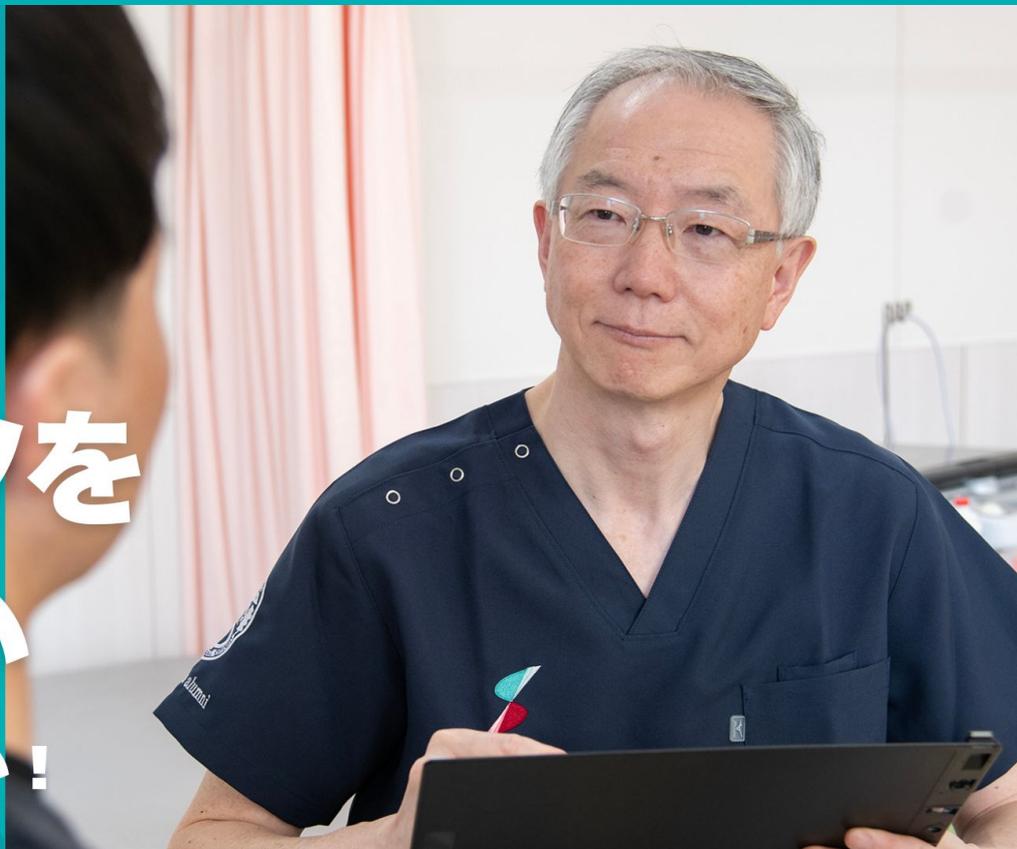


お手続き完了です！

銀行振込・コンビニ支払いの場合
「支援履歴」から返金先情報の
設定をご確認ください。



どこにいても
スポーツを
諦めない
未来をつくりたい!



目標金額 **550万円** 2025年 **7月15日(火)** 9時から **9月12日(金)** 23時まで

札幌医科大学 公式クラウドファンディング

医療を“届ける”新しいスポーツ支援の挑戦

札幌医科大学医学部スポーツ医学講座は、すべてのアスリートが平等に質の高い医療サポートを受けられる社会を目指しています。

しかし、特に北海道のような広大な地域ではすぐにスポーツ医学を踏まえた医療にアクセスできない場合があり、アスリートがケガや健康問題を抱えたまま競技を続けている現状があります。このような課題を解決するため、私たちはこのプロジェクトを立ち上げました。

今回の挑戦では、クラウドファンディングで皆さまからのご支援をいただき、遠隔医療支援の仕組みとポータブルエコーを導入することで「現場で即時に診る」体制を構築します。医療を必要とする人にタイムリーに届けられる環境をつくるのが目的です。

医療者側にとっても、限りある医療資源や人材を効率的に使い、みんなの力を少しずつ集めてアスリートを支援する体制ができればと考えております。まだ遠隔対応の機材が不足しており、支援体制の拡充には皆さまの力が必要です。ケガなどによって夢を諦めるアスリートをこれ以上生み出さないために。

誰もが安心してスポーツを楽しむ未来の実現へ、どうか私たちの挑戦を応援してください。
温かいご寄附をよろしくお願いいたします。

インターネットでのご寄付が難しい方は、下記お問い合わせ先まで
お知らせください。現金でのご寄付について、ご案内いたします。

※本プロジェクトはAll or nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。
※プロジェクトページは7月15日午前9時よりご覧いただけます。

- プロジェクト内容について：札幌医科大学 医学部スポーツ医学講座 渡邊耕太 wkota@sapmed.ac.jp
- 税金控除について・Webでのご寄付が難しい方：事務局研究支援課（瀬上） kihukin@sapmed.ac.jp



札幌医科大学 スポーツ医学 クラウドファンディング



<https://readyfor.jp/projects/sapmed-sports2025>

ご寄付の方法

「札幌医科大学 スポーツ医学 クラウドファンディング」で検索。または表面の二次元コードを読み込んでください。

1 プロジェクトの寄付にすすむ
をあクリック



2 希望するコースあにチェック
を入れ、個数を選択し
次に進むをクリック



3 はじめて利用する方は新規登録へ
をクリック



4 情報を入力し
メールアドレスで登録をクリック



5 支払い方法を選択する



6 必要情報を入力



※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。寄付金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。
受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

7 ギフトお届け先(住所)を入力し
入力内容の確認画面へをクリック

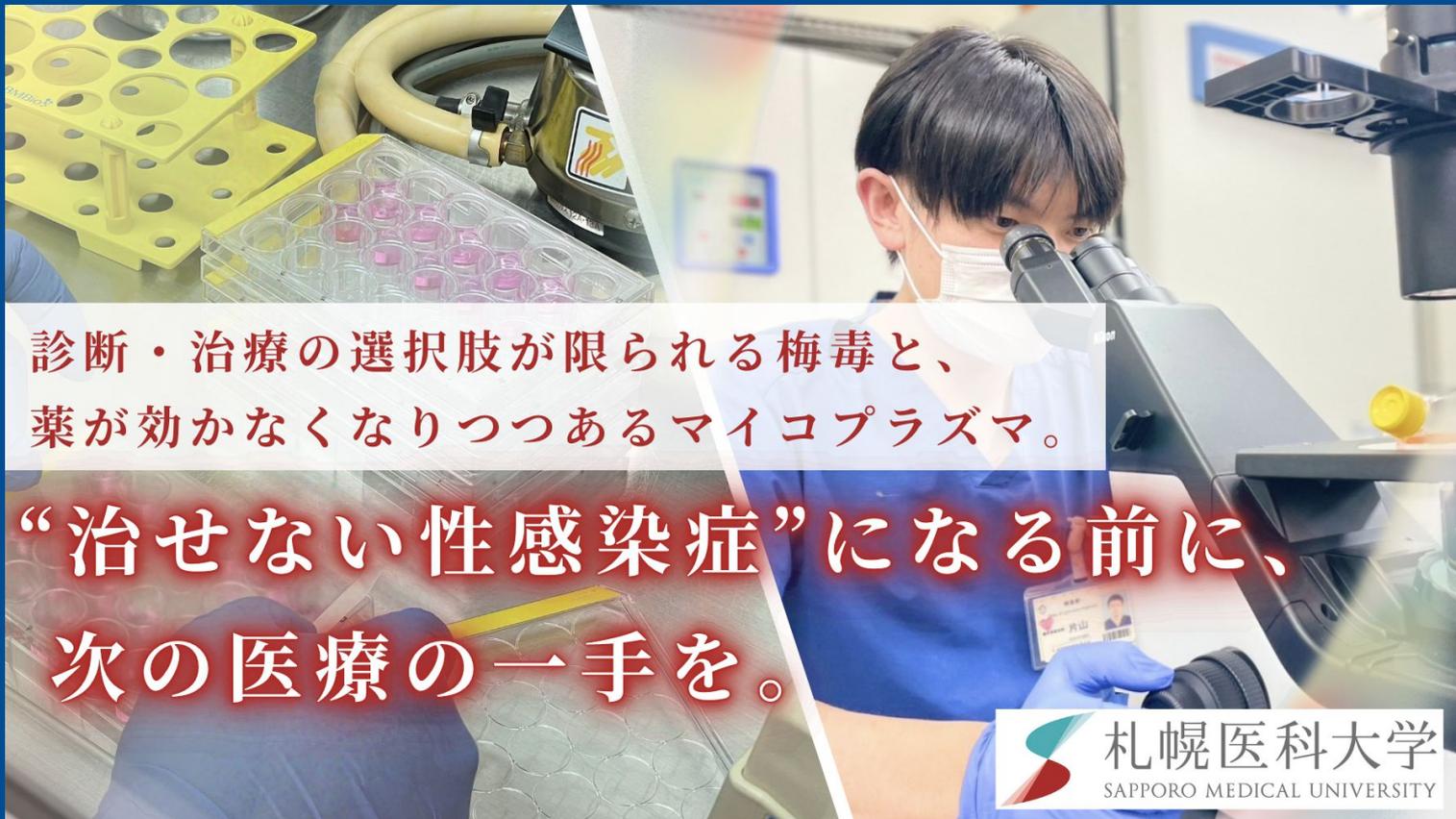


8 入力情報を最終確認し、
寄付を確定するをクリック



お手続き完了です！





診断・治療の選択肢が限られる梅毒と、
薬が効かなくなりつつあるマイコプラズマ。

“治せない性感染症”になる前に、
次の医療の一手を。



目標金額 **300**万円 2025年 **7月15日** (火) 9時～**9月12日** (金) 23時まで

増加する性感染症に立ち向かう ～培養困難な細菌の培養法確立を目指して～

※本クラウドファンディングへのご寄付は札幌医科大学へのご寄付となり、税制上の優遇措置が受けられます。

※本プロジェクトは All or nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご寄付は返金いたします。

梅毒やマイコプラズマ・ジェニタリウムは、「性感染症」としていま再拡大しており、不妊や流産、先天性の重い障害など、妊娠・出産にかかわる世代にとって深刻なリスクとなっています。

しかし、両者の原因菌は、生きたままの状態での培養が極めて難しいため、病気の正体も薬の効き方も十分に解明されていません。特に梅毒では診断法やアレルギーを持つ妊婦さんへの治療薬が限られており、マイコプラズマは主要な治療薬に耐性を持つ割合が高く、治療が困難なことが報告されています。

診断・治療の選択肢が限られる梅毒と、薬が効かなくなりつつあるマイコプラズマ。“治せない性感染症”になる前に、次の医療の一手を。私たち札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座は、一般的に入手可能な機材や試薬だけで「病原菌を培養する方法の確立」に挑戦しています。この研究が、次なるステージ、「診断の精度向上や新たな治療法の開発」につながると私たちは信じています。

本プロジェクトのために必要な費用は約 300万円。顕微鏡やクリーンベンチ、培養細胞など、研究の土台となる設備や試薬の整備に充てさせていただきます。

「もしかしたら自分や、身近な人の未来を守る一手になるかもしれない」そう思ってくださいの方は、どうかこの研究にご寄付をお願いいたします。

● プロジェクト内容について：医学部感染制御・臨床検査医学講座(安田) yasuda7jpe@sapmed.ac.jp

● 税金控除について・Webでのご寄付が難しい方：事務局研究支援課(瀬上) kihukin@sapmed.ac.jp

<https://readyfor.jp/projects/STI>



札幌医科大学 性感染症 レディーフォー



ご寄付の方法

「札幌医科大学 性感染症 レディーフォー」で検索。または表面の二次元コードを読み込んでください。

1 プロジェクトの寄付にすすむをクリック



2 希望するコースにチェックを入れ、個数を選択し「次に進む」をクリック



3 はじめて利用する方は新規登録へをクリック



4 情報を入力し「メールアドレスで登録」をクリック



5 支払い方法を選択する



6 必要情報を入力

★クレジットカードの場合
→カード情報を入力

★銀行振込の場合
→画面の案内をお読みください

★コンビニ支払いの場合
→画面の案内をお読みいただき、コンビニの種類を選択

※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。寄付金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄付でご利用いただけます。



入力したメールアドレス宛に READYFORからメールが届きます。受信したメールの本文内にある URL をタップしてください。

7 ギフトお届け先(住所)を入力し「入力内容の確認画面へ」をクリック



8 入力情報を最終確認し、「寄付を確定する」をクリック



★選択したコース、個数
★合計金額
★支払い方法
★カード情報または口座情報
★ギフトお届け先(住所)を確認し、アンケートとメール配信について回答

お手続き完了です！

銀行振込・コンビニ支払いの場合
「支援履歴」から返金先情報の設定をご確認ください。